

スクールミッション・目指す学校像など

I スクールミッション、スクールポリシー		
スクール・ミッション	農業に関する知識・技術を身に付け、農業の見方、考え方を生かして、社会の持続可能な発展に貢献する態度を育むことを目指して、基礎・基本の定着を図る個に応じた教育を推進し、農業を通じた体験的な学びを通して、自他の生命や人格を尊重する態度と豊かな人間性を身に付けた、地域社会の一員として活躍する自立した人材を育成します。	
スクール・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	農業の見方、考え方を生かして、社会の持続可能な発展に貢献する態度を育むとともに、自他の生命や人格を尊重する態度と豊かな人間性を身に付ける。
	カリキュラム・ポリシー	基礎・基本の定着を図る個に応じた教育を推進し、農業を通じた体験的な学びをとおして、地域社会の一員として活躍する自立した人材を育成する。
	アドミッション・ポリシー	農業に興味・関心があり、自分を大切にするとともに、他者に思いやりがあり、自分の将来に目標をもち、進路実現に向けて挑戦することができる生徒。
教育目標	① 共通教育と農業教育を通して、豊かな人間性を養う。	
	② 互いの人格を尊重し、社会の一員としての自覚と生きる力を養う。	
	③ 自ら学ぶ意欲を高め、個性と創造力を養う。	
II 目指す学校像と生徒像		
1 目指す学校像 「食と緑と農を創造する学校」		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 農業の専門教育をとおして、地域社会を支える人材をはぐくむ学校 (2) 自他の個性と生命を大切にす生徒の心を育てる学校 (3) 限られた条件の下でも目標に向かって努力することのできる生徒を育てる学校 (4) 地域貢献活動をとおして、地域社会や都民の期待に応える学校 (5) 教員一人一人が、教育の専門職として自らの専門的能力の向上に努める学校 		
2 目指す生徒像 「将来へ向けて一歩を踏み出すことのできる生徒」		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 農業に誇りをもち、学びを生かそうとする生徒 (2) 自分を大切にし、自分と同じように他者を大切にす生徒 (3) 目標に向かって努力することのできる生徒 (4) 自分のため、他者のため、社会のために行動・実践できる生徒 (5) 時間を守り、時と場に応じた身だしなみを整えることのできる生徒 		
III 重点目標		
<基本方針>	生徒集団の状態や個々の生徒の状況を学校全体で共有し、必要な指導を全教職員が共通理解のもとに行う組織的な指導体制を構築する。リスク管理を行いながら前向きにできることを考え、成功体験と達成感により自己肯定感を高めることを基本とし、生徒ができないことを放置せず、できるようにするための支援を必ず行い、生徒にできることを考えさせ、状況に応じた指導や支援を行うことで、目標に向かって努力し、あきらめずに最後までやり抜く心を育てる。	
<重点目標>	<ul style="list-style-type: none"> 1 農業を好きになる教科活動を推進する 2 新型コロナウイルス感染症対策を徹底する 3 全員進級、全員卒業を実現する 4 生徒の発達段階や発達課題に応じた指導を徹底する 	

IV 教育活動の目標と方策		
学習指導	<中期的目標>	生徒の理解や納得を大切に授業、深い学びのある授業、生徒がさらに勉強したくなる授業をとおして、生涯にわたって必要なことを学習し続けるための学習方法を身に付けさせる。また、ICTを活用した質の高い授業を実践する。
		(1) 普通教科、専門教科の授業の充実
	【目標】	個々の生徒への学習支援を充実し、基礎学力の向上を図る。
	【方策】	①生徒の興味・関心を高める工夫を徹底して行う。
		②生徒に考えさせる授業を行って、知的好奇心や学ぶ意欲を高める。
		③授業外で個々の生徒の学習段階に応じた指導を行い、生徒の理解や達成感を支援する。
		④新学習指導要領に対応した指導計画の作成と観点別評価を実践する。
		⑤授業での探究活動の要素を取り入れ、主体的・対話的な深い学びを積極的に実施する。
		⑥一人1台端末の効果的な活用を実践する。
		(2) 系統的な専門教科学習の推進
	【目標】	農業の基礎となる専門的知識・技能を確実に習得させる。
	【方策】	①農業に対する興味・関心を高め、農業を好きにさせる授業づくりを進める。
		②実習・実験等において、生徒が達成感を感じる成功体験をさせる。
		③専門教育の中で、美の追究と価値の創造に取り組む。
④農業の6次産業化による学習を推進する。		
⑤GAP教育及びHACCP教育を推進する。		
⑥農場部全体で、農業クラブ活動に積極的に取り組む。		
⑦FFJ検定、アグリマイスター顕彰制度の取得を目指す。		
	(3) 授業力の向上	
【目標】	教員一人一人が授業改善の目標を立て、授業力向上に取り組む。	
【方策】	①授業規律を徹底する。	
	②全教員が授業評価を実施し、授業改善をすすめる。	
	③オンライン教育を継続して取り組む。	
	④観点別評価等、新学習指導要領への対応を確実に行う。	
生活指導	<中期的目標>	生徒の状況を学校全体で共有し、必要な指導を全教職員が共通理解のもとに行う組織的な指導体制を確立するとともに、個々の生徒の状況に応じて、必要とされる外部機関と連携して生徒の課題を解決するチーム学校の指導体制を確立する。
		(1) 基本的な生活習慣の定着、規範意識の涵養
	【目標】	あいさつ、時間を守る等、社会で必要とされる基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせる。
	【方策】	①生徒の状況を学校全体で共有し、必要な指導を全教職員が共通理解のもとに行う。
		②登校時のあいさつ運動等、教職員が率先垂範して挨拶を行う。
		③授業の定刻開始や遅刻者に対する個に応じた粘り強い指導を行う。
		④時と場合に応じた身だしなみを整える指導を徹底する。
		⑤ルールの意味を考えさせ、生徒が納得してルールを守ることができるよう指導する。
		⑥いじめは早期発見し、早期対応を行う。
		⑦新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。
		(2) 安全教育・健康教育の推進
	【目標】	安全教育・健康教育を充実させ、安全・安心な学校生活を送ることができるようにする。
	【方策】	①非行や誘惑に巻き込まれない自己管理（危険回避）を指導する。
		②実践的な災害対応を目的とした防災訓練を行う。
③日常的な交通安全教育を実施する。		
④警察や消防署等の関係機関と連携した安全教育の取り組みを行う。		
⑤「TOKYO ACTIVE PLAN for students」を踏まえた体力向上への取組（東京都統一体力テスト、スポーツへの関心を高める取組等）を実施する。		
進路指導	<中期的目標>	農業の専門高校として計画的なキャリア教育を推進し、次世代の農業を創造する志をはぐくむとともに、個に応じた進路指導を推進して、生徒の進路希望をより良く実現する。
		(1) キャリア教育の充実
	【目標】	農業の専門高校としての計画的なキャリア教育により、農業に対する志を高める。
	【方策】	①就農に関する情報を提供し、就農について考える機会を設ける。
		②JAと連携した農業インターンシップ等を実施して、農業に関連する分野への進学や就職者を増やす。
		(2) 個に応じた進路指導の推進
	【目標】	生徒一人一人の個に応じた進路指導により、生徒の第一希望の進路実現を実現する。
	【方策】	①上級学校、企業訪問等、情報収集を徹底して行い、進路先が求める生徒像等の理解を深める。
		②ハローワークとの連携を密に取り、就職指導をより一層充実させる。
		③奨学金について、適切に情報提供を行う。
④就職した卒業生の状況を把握し、早期離職の防止を図る。		
⑤進路指導の情報を保護者にも確実に周知する。		

特別活動	<中期的目標>	特別活動において、多様な他者と協働する様々な集団活動を経験させ、課題を解決するための話し合い、合意形成や意思決定することをとおして、自己の人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う	
	(1) 特別活動の充実		
	【目標】	学校農業クラブ活動、学校行事、ホームルーム活動、部活動等の特別活動を充実して、生徒の自主性を高め、自律的な活動の活性化を図る。	
	【方策】	①ホームルームは、年間指導計画に基づき計画的、系統的に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動等をおして、生徒の自主的な活動の活性化に取り組む。 ③活動に必要な予算や指導者を確保し、部活動を支援する。 ④特別活動全体をおして、コミュニケーション能力の向上を図る取り組みを進める。	
心と身体の健康の増進	<中期的目標>	教員と生徒の信頼関係を基盤として、個々の生徒の特性に応じた長所を伸ばす指導を行い、生徒が将来、社会の一員として活躍するための自己肯定感や他者を尊重する心、健康な身体をはぐくむ。	
	(1) 生徒の心を育てる教育の推進		
	【目標】	多様な生徒の個に応じた心を育てる教育を推進して、自己肯定感を高め、社会と前向きにかかわろうとする姿勢をはぐくむ。	
	【方策】	①教育相談機能をより一層高め、支援の必要な生徒の情報を共有し、多様な生徒への適切な支援や対応を組織的に検討して実施する。 ②特別な支援を必要とする生徒に対して、合理的な配慮や個に応じた適切な支援を行う。必要に応じて、通級対応を行う。 ③目標に向かって努力することの大切さを伝え、あきらめずに最後までやり抜く心を育てる。 ④美の追求、食の探究により、豊かな感性をはぐくむ。	
	(2) 生命尊重、人権尊重の教育の推進		
	【目標】	生命尊重の教育、人権教育を推進し、自他の生命や人格を尊重する態度をはぐくむ。	
	【方策】	①人権や命の大切さについて考えさせる指導を計画的に実施する。 ②人権課題について教員研修を実施するとともに、生徒向け講演会等を実施する。 ③すべての授業、ホームルーム等において、生命尊重、人権尊重の視点から指導を行う。	
	(3) 食育の推進		
	【目標】	給食をおして、健康な生活、健康な身体を作るための基盤を身に付けさせる。	
	【方策】	①授業や特別活動において、食と健康について考えさせる指導を行う。 ②生產品使用、地産地消、季節感のある給食等により、食と文化の結びつきを考えさせる。 ③喫食者を増やし、給食による食育指導を進める。	
	学校経営	<中期的目標>	限られた条件の中で生徒のために最大の成果を上げることを目的とした創意工夫ある取組を推進する。本校の特性を生かした活動により、地域に根ざした農産高校の存在を広く区民・都民に周知する。
		(1) 地域連携、地域貢献活動の推進	
【目標】		本校の特性を生かした活動を推進し、地域に根ざした学校づくりを進める。	
【方策】		①日常の学習活動を活かした地域貢献活動や地域貢献活動をおした探究活動を行う。 ②「人間と社会」や農業科目等において、自治体や地域の団体と連携した活動に取り組む。 ③葛飾区との地域連携を推進する。	
(2) 募集活動を徹底して行う			
【目標】		中学生に農産高校の情報を的確に伝える。	
【方策】		①中学校訪問や出前授業等、中学校への情報提供を積極的に行う。 ②フリースクールや生徒支援のNPOとの連携を進める。 ③ホームページやSNSにより、学校の魅力を組織的、計画的に発信する。 ④農場や校門付近等の美的景観を高める。	
(3) 次世代の社会にむけた教育活動			
【目標】		持続可能な社会を実現するため、SDGsの取組を推進する。	
【方策】		①SDGsについて、授業やホームルームで指導を行う。教員研修を計画的に実施する。 ②5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）の取組を推進する。	
(4) 教育環境の整備			
【目標】		生徒の学習環境、学習条件を良好な状態に維持する。	
【方策】		①施設・設備の維持、補修、更新を計画的に進め、生徒の学習環境の整備に努める。 ②自律経営推進予算を効率的に執行し、予算残をなくす。センター執行率50%を目指す。 ③施設共有や行事交流等、全定の交流を推進する。 ④新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底する。また、オンライン教育等、学習活動への影響を最小限とするために必要な対応を行う。 ⑤ライフ・ワークバランスを意識し、業務の効率化を図り、残業時間削減等に取り組む。	
(5) 服務事故の防止			
【目標】		服務事故をおこさない。	
【方策】		①服務事故防止研修や日常的な注意喚起を確実に行う。 ②体罰や不適切な指導についての啓発を定期的に行う。 ③職員間の意思疎通を活発に行い、風通しの良い職場を維持する。	